

町政モニターの皆さんから いただいたご意見ををご紹介します

町では、町民の皆さんの考えや意見などを、町政運営の参考としていくため、モニター制度を設置し、各区から推薦された23人の皆さんに町政モニターを委嘱しています。

平成30年度に4回開催した町政モニター会議でいただいたご意見の中から、主なものを要約してご紹介します。

* 回答は、当日の回答および担当課の補足回答から抜粋したものです。



▲会議の様子

【防災訓練と各区の防災委員について】

私の区では、区内の各組（班）に防災委員がいますが、防災委員として必要な訓練や災害が発生した時の行動（声掛けや避難確認）、また、避難後の役割分担など何も知らされていません。これでは、実際に災害が発生したときは何もできないし、防災委員を作る意味がありません。町として、地域末端まで含めた防災組織と災害発生時のマニュアルはどのようなになっていますか。

【回答】

大規模災害時は、公助にも限界があるため、自助・共助の役割の重要性が非常に高まっています。地区によっては、災害時に備え、5軒チームで決められた場所に避難して安否確認を行うなど、地域で考えられた災害時の行動・役割を基に訓練を行っている地区もあります。町としても、各地区が災害発生時に自動的に行動できるよう、いろいろな取り

組み事例を参考に各地区の実情に応じた防災活動の体制づくりを支援していきます。

また現在、町では「避難所運営マニュアル」の見直しを進めています。見直し完了次第提供させていただきます。各地区で地域の実情に応じた避難所運営マニュアルの作成や避難所運営体制が構築できるよう支援していきます。



▲地区防災訓練の様子（野場区）

【保育園・児童クラブについて】

延長保育の時間延長と小学校の児童クラブの定員拡大してほしい。

【回答】

延長保育の時間延長につきましては、保育士不足で時間の延長ができないのが現状です。児童クラブにつきましても、児童クラブのスタッフが不足していて、運営に苦慮している状況です。

児童クラブは、平成26年度から毎年1カ所ずつ増設していて、平成30年度は幸田小学校で1カ所増設しました。平成31年度は、1カ所増設のための工事を予定しています。定員内での優先順位を考慮して運営しているのが現状です。

【高齢者福祉施策について】

人口増と団塊の世代が75歳になる2020年以降の高齢者福祉に対応する介護施設や介護人員の対応、また、介護を必要とする年齢を遅くする健康寿命対策、認知症対策を行うため、医療費の増大を抑える施策はありますか。

【回答】

介護施設につきましては、平成27年度に町内に3カ所目の特別養護老人ホームができました。今後の施設計画としましては、介護老人保健施設の誘致を検討しています。介護人員の対応につきましては、現場の介護職員の処遇改善を促して

いきます。

健康寿命対策、認知症対策につきましては、各種健診の推進、病気の早期発見、早期治療、それから、介護予防施策の実施、拡大とともに、シニア・シルバース代の活躍の場を創出し、退職後の資格取得支援など会社から地域へと移行できるように、マッチングをサポートしていきます。

【子どもの遊び場について】

休みに遊びに行こうと思っても、町内に魅力のある公園など遊ぶ施設がありません。雨の日はさらに遊びに行くところがなくて困ってしまいます。子どもが増えているという点なので、遊びに行ける場所が身近にあるといいなと思います。

【回答】

多世代交流施設「豊坂ほっと館」が平成30年4月1日にオープンしました。屋内施設で、いろいろな部屋があり人気です。一度見ていただきたいです。各学区に児童館を展開したいと考えていて、幸田学区、坂崎学区を予定しています。そこに外で遊べるスペース、遊具を設置するという規模であれば幸田町でも可能ではないですが、大規模なものは難し

いと考えています。相見地区あるスポーツ公園などにぎわいのある公園が人気です。既存の地域の公園の中身を改めて検討させていただきます。



▲豊坂ほっと館と館内で遊ぶ子どもたち

【獣害について】

害獣（ハクビシン、イノシシ、キツネ）による畑の被害が多いので、対策を考えてほしい。

【回答】

小型の害獣につきましては、町でも檻を所有していますので捕獲が可能です。イノシシが被害の大部分を占めるため、捕獲檻の効果的な設置に今後も努めます。また、農作物被害を防止する目的で設置する侵入防止柵の資材購入をするときは、町ではその半額を補助していますので事前にご相談ください。

【道の駅について】

幸田の道の駅に行ったら〇〇がおいしい、というような看板商品ができるとうよいと思います。食べ物がいいたいところに多くのお客さんが集まります。幸田の道の駅をもっと盛り上げたいです。

【回答】

道の駅では、看板メニューの開発に取り組んでいて、「夢やまびこ豚」（有限会社マルミファームの豚肉）を使用したトンカツを考案し、平成30年11月7日から

「やまびこ豚カツ定食」として新メニューを販売しています。ぜひとも一度、ご賞味ください。

また、昨年の夏には、姉妹都市提携をしている長崎県島原市の「島原とうめん」を使った「島原とうめんデラックス」を新メニューとして販売しました。

地元の豚肉、野菜、果物、お米、おいしいものがたくさんあります。地産地消につなげたいと思います。



▲道の駅「筆柿の里・幸田」と「やまびこ豚カツ定食」

問合せ 企画政策課政策情報グループ

☎(0564)62-1111(内線334)
FAX(0564)63-5139